

筑豊小児科医会会報

Vol.195 2023.4



Contents

- ◇ 今月のトピックス (小児科 部長 岡松由記・小児外科 部長 竜田恭介)
- ◇ 退任のお知らせ
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2023年1月》
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

今月のトピックス（小児科 部長 岡松由記・小児外科 部長 竜田恭介）

● 小児科 部長 岡松由記

日に日に暖かくなって、桜のつぼみが膨らんで参りました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

2022 年度に久留米大学から出向してきた清松光貴先生、南里大樹先生と小竹由先生が他施設に異動します。いつも、静かですが癒し系笑顔を持つ人たちで、患者さんや保護者とスタッフから良い評判を頂いておりました。これからもそれぞれの場所で、ますますご活躍されることをお祈りします。なお、山下哲矢先生は当院勤務が継続となります（拍手）。

2023 年度もこの通信を通して素敵な医局員の紹介もしていきたいと思えます。いつも、皆様には大変お世話になります。特にこの数年はご迷惑をおかけすることが多く大変申し訳ございません。筑豊地域の小児医療の提供が継続できるようがんばります、今後ともどうかよろしくお願ひします。

● 小児外科 部長 竜田恭介

平素よりご高配を頂きありがとうございます。日増しに暖かくなってきて、日課にしています出勤前の遠賀川周囲の散歩もしやすくなり、いろんな野鳥を見るのが楽しい季節になりました。

2022 年の当科の手術数は 93 例とかなり減少してしまいました。診療制限などの影響もあると思ひますが、今年は減少傾向を食い止めて、100 例を超えたいと考えています。

2023 年の診療体制ですが、途中からレジデントの先生が小児外科を回ってくれる予定になっており、部分的に 2 人体制になる予定です。小児外科の外来は月、水、金の午前中となっておりますが、緊急性がありそうな患者についてはいつでも、遠慮無くご紹介ください。急性陰嚢症などの泌尿器科疾患などにも対応可能です。2023 年もよろしくお願ひいたします。

退任のお知らせ

● 小児科 医長代理 きよまつこうき 清松光貴

2022 年 4 月から 1 年間、飯塚病院 NICU・小児科で勤務させて頂きました。

地域の中核病院として、多種多様な症例を経験する事ができました。小児科医として子供の病気を治療するという事は当然ですが、それ以外にも親の気持ちに寄り添い、不安を少しでも解消できるように診療に取り組まなければならない大事さを改めて感じる事ができました。

まだまだ未熟者ですが、この 1 年間は小児科スタッフ・NICU スタッフ・ER スタッフ・薬剤部の方々・検査部の方々・事務の方々に助けられながら楽しく診療する事ができました。

今後も病気で辛い思いをしている小児・親のためにも、自分自身をレベルアップできるよう精進して参りたいと思ひます。1 年間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。



● 小児科 専攻医 ^{なんりだいき} 南里大樹

1年間小児科とNICUで勤務させていただきました。

飯塚病院は楽しく勤務しているスタッフが多いのが印象的でした。これもひとえに飯塚病院を支えてくださる近隣の開業医の先生方のお力添えがあってこそだと考えます。

将来は地域のプライマリ診療に従事する予定で考えているので、筑豊地区で学んだことを活かし日々精進していきます。1年間ありがとうございました。



● 小児科 専攻医 ^{こたけ ゆう} 小竹 由

2022年4月より前期にNICU、後期は小児科病棟で勤務させていただきました。

1年間、小児科のスタッフのみならず、多職種の方々に大変お世話になりました。おかげさまでたくさんの貴重な症例、経験を積むことができ、また地域との連携など幅広く学ばせていただきました。飯塚病院で学んだことを活かし、今後も精進していきたいと思えます。1年間、本当にありがとうございました。



飯塚病院 月間診療のまとめ 《2023年1月》

●入院患者数 98人 ●外来患者数 990人 ●救命救急センター受診者数 263人

●新生児センター入院患者数 20人 ●分娩件数 32件 ●手術件数 2件

●主要疾患数（退院患者数：83人）

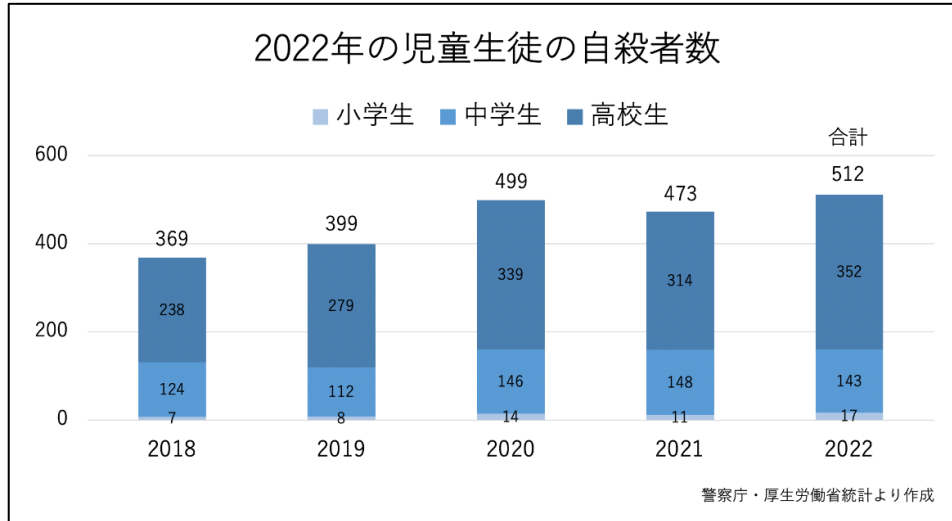
肺炎・気管支炎	13	痙攣及びてんかん	10	低出生体重児	6
急性胃腸炎	4	急性上気道感染症	2	高ビリルビン血症及び黄疸	2
新生児呼吸障害・心血管障害	2	喘息	1	その他	43

●1月紹介件数

小児科：87件			小児外科：9件		
①	松尾ファミリークリニック	10		いづかこども診療所	1
②	ささきこどもクリニック	6	①	栗原小児科内科クリニック	
	宮嶋医院			こどもクリニックもりた	
④	こどもクリニックもりた	4		田川市保健センター	
⑤	有松病院	3		たなかのぶお小児科	
	栗原小児科内科クリニック			ひじい小児科クリニック	
	こども発達療育センターテコテコ			福岡新水巻病院	
	ひじい小児科クリニック			富士見ヶ丘内科循環器科医院	
	吉國医院			吉國医院	

児童生徒の自殺者数が過去最多

去年1年間に、みずから命を絶った人は全国で2万1881人と増加し、中でも子どもの自殺は深刻な状況です。小中高校の自殺者数が512人と過去最多を更新し、とくにコロナ禍以降、顕著な増加がみられ、この3年間で3割ほど増加しました。



ユニセフが2020年に公表した先進国の子どもの幸福度に関する報告書によりますと、日本は「身体的健康」では38か国中1位であるにも関わらず、「精神的幸福度」はワースト2位となっています。ここで言う「精神的幸福度」とは、生活満足度と自殺率を指標としています。

子どもの生活満足度については、自己肯定感や友達関係が大きく関係します。そして、学力偏重社会ほど、自己肯定感が学校の成績に大きく左右されるのも特徴と言えます。学力や人間関係が悪化する1つの要因が「家庭の経済格差」です。学力だけでなく、いじめや不登校、肥満児も親の所得が低いほど増える傾向にあります。そこから児童虐待やヤングケアラーなどの問題が起こる可能性も高くなります。

子どもの問題を考える上で、子どもだけに焦点を当てるのではなく、家族全体をアセスメントする必要があります。困難な課題を抱える家庭・子どもを支えるためには、個の支援でなく地域全体でつながり支援することが肝要です。

小児虐待防止委員会 委員長 田中 祥一郎

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL : 0948-88-8220 (直通) FAX : 0948-88-2806

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

新年度明けましておめでとうございます。期待と不安が入り交じる季節、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。新しい環境に飛び込んだ方もいらっしゃるでしょう。ほんの数週間まで慣れ親しんだ環境にいたのに、いきなり見ず知らずの人に囲まれ、初めての体験が押し寄せてくる。新しいことを覚え、それを活かしてタスクをこなし、結果を出す。そんな過酷な毎日に必要なものは何でしょうか。知力？体力？リーダーシップ？マネジメント能力？、いいえ、それはレジリエンスです。ラテン語で「跳ね返る」を語源に持つ言葉ですが、一般には回復力と訳されます。ストレスへの耐性を表す、強さとしなやかさを兼ね備えた力です。

このコラムでも書きましたが、子ども達は愛着形成の過程を通して、感情・感覚・自律神経系の安定、安心・安全を感じる力を身につけ、レジリエンスを発達させます。新しい環境で気持ちを落ち着かせ、ドキドキする心臓をなだめ、呼吸を整え、安全な居場所を見つけられる力の源に幼少期の安定した養育者との愛着があり、その後に築く他者と安定した愛着がこれを強くするのです。

それでも、新しい環境できつい時はどうしたら良いでしょうか。職場にお母さんと呼ぶ訳にはいきません。信頼できる人を探せば良いのですが、それができる人はレジリエンスのある人です。簡単に気持ちを切り替えられない時はトップダウン（頭・心 → 体）ではなく、ボトムアップ（体 → 頭・心）な対策が良いと言われます。自律神経を整える深呼吸、瞑想、乾布・冷水摩擦、サウナ、温冷交互浴に岩盤浴など、ゆっくり風呂につかって、よく寝て、うまいもの食べて・・・って、時間と余裕がないとできないことばかりですね。子ども達や新人さんが新学期に問題を頻発した時、責めても、慰めても、ガンバレと鼓舞してもダメな時は休養（後ろめたさのない完全な休養）が必要です。組織全体で休養を心身の健康を取り戻すためのものとして前向きに捉え、しっかり休ませる。そんな風になればいいなと思います。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

小児科関連勉強会のご案内

- 4月の筑豊小児科医会勉強会は休会とさせていただきます。

最新の情報は 飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

